

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら行徳駅前教室

保護者等数(児童数) 15 回収数 12 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらか いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	1		・専門職員が少ない。 (保育士や幼稚園教諭以外の専門性に欠ける)	・現在は言語聴覚士・社会福祉士が在籍、支援学校教諭も採用予定です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1			・一度見学しただけなのでわからない。	・利用スペースはバリアフリー対応となっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			1	・とても広々としていい環境であると思います。	・継続してまいります。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12				・面談を基に一緒に考え計画を立ててくれます。	・今後も継続して、保護者様のご意見・要望を踏まえ計画を作成していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			2	2	8	・交流があるのかわからない。 ・交流をしているところを拝見してないです。
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	6	2	2	・ペアレントトレーニングを知らない。 ・ペアトレは受けていません。	・契約時、個別支援計画の確認時に説明を含め共有していきます。 ・日常では、連絡帳・送迎時・電話等でお子様との関わり方について、継続して共有していきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	2				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	5			・連絡帳でやりとりしています。	・連絡帳は継続するとともに、保護者様のご希望に合わせて、お電話や面談での対応をしていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	5	4	・他の保護者と交流していない。	・現在実施できておりません。保護者様のご希望に合わせて開催を検討していきます。 ・検討してまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				・見学などさせていただき希望を受けていただきました。	・今後も継続していきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	1	・HPを見ていない。	・ブログ掲載、インスタ等実施しております。認知いただけるように告知は継続していきます。
非常時等の 対応	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	12					
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	2		5	・マニュアルはありますが訓練はしているかわかりません。	・各災害に対する避難マニュアルは教室内に掲示してありますので、ご来所の際にご確認ください。又、避難訓練に関しては、各災害(地震、火災、水害)を想定した訓練を計画しております。実施時にブログ等でお知らせいたします。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		7	・訓練をいつ行っているかわからない。	・避難訓練は、各災害(地震、火災、水害)を想定した訓練を計画しております。実施時にブログ等でお知らせしていきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			・こぼんはうすは大好きで「今日行く日だよー」と言うので保育園にも嫌がらず行ってくれます。本当に楽しいようです。	・今後も、お子様の「楽しい!」があふれる教室を継続してまいります。
	23 事業所の支援に満足しているか	11	1			・OTやSTなど特性をもっと取り入れたプログラムができるともっと嬉しいです。 ・STの意見を聞きたくった。	・現在、言語聴覚士を中心にプログラムを作成中、専門的視点で療育につなげられるようになっています。

保護者等
必ずご記
(※本部で回収)

回収率は90%

一部の不満
吸い上げるこ
改善点が必ず

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら行徳駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・広々と過ごせるスペースの他に、お子様が集中して課題に取り組みやすいスペース等を確保しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	5		・必要配置数は確保できています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・お子様が過ごすスペースに段差はありません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・記録を残し、全職員に周知。それぞれの意見を都度反映させています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		5		・今回が初めてのアンケート調査だが、保護者様からいただいた意見については、既に職員間で話し合いを行い、業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5		・今回が初めてのアンケート調査の為、集計後公開予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		・今回が初めてのアンケートの為。必要に応じて対応を検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・各職員が外部の研修に参加すると共に、教室内でも定期的に研修を行い、専門的知識や技術を深めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・面談時、アンケート記入と合わせて、ヒヤリングを実施。相違ないように対応しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・契約・入所時、個別支援計画時にフェイスシートとアセスメントシートを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・担当者間で話し合い、会議で提案実施。職員全員の意見を反映させたプログラムを作成し、保護者へ共有しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・年間計画から月毎に計画を落とし込んでおり、季節・行事等に合わせたプログラムを作成・実施しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・保護者様にも、個別と集団、それぞれの支援内容について説明し、理解をいただいた上で支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・個別支援計画を基に、職員の意見を反映させて決定しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・日々の支援について繰り返しの時間を設定し、意見を収集して次回の支援に反映させています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・支援・話し合いの内容は業務日報に記録し、全職員に周知できるようにしています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・モニタリングシート、定期的MTを元に職員がすぐに確認できるようにしています。		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5				
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		・現在、該当するお子様がいませんが、必要時には連携等を実施していきます。	
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を築いている		5		・現在、該当するお子様がいませんが、必要時には連携等を実施していきます。	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			・保護者様と相談し、連携を取った上で、必要に応じて保育所等訪問を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		・アンケート時には該当者がいなかったが、今後保護者様と相談し、小学校等との連携・訪問等を実施していきます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5			現在は実施できていない為、保育園等と連携し、計画していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		5			・現在は実施できていない為、今後積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				・書面、直接会うことが難しい保護者様とは、電話や連絡帳を活用して共通理解を図っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5				・保護者様から相談があった際は、電話・連絡帳等で、家庭での対応等について助言を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5			・保護者様のご希望を確認した上で、無理なく参加ができる会を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				・日々の教室の様子はブログやインスタで発信中です。その他、お知らせ等については個別配布等実施しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5				・常に鍵のついた戸棚で保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				・お子様の特性に応じて、絵カードを使用する等、個々に対応しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5			・安全面について十分に考慮した上で検討・実施していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5				・各災害時の対応マニュアルは作成・周知しています。避難訓練については立案が済んでいるので、今後計画通りに実施します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		5			・避難訓練については立案が済んでいるので、今後計画通りに実施します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5				・アセスメント時に必ず確認を行い、フェイスシートに記入・確認しています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				・おやつの内容は必ず保護者に確認し、許可をいただいたものを提供しています。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				・専用ファイルを作成し、いつでも閲覧・確認できるようにしています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				・全職員を対象に研修を実施しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5					

数・回収数を
3入力ください。
率を集計しておりま
す)

以上を目指しましよ
う。
与足層の意見を
とができるので、
ず見えてきます。

